

## 編集後記

本学会の和文誌『日本小児循環器学会雑誌』および英文誌「*Journal of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery*」への投稿数減少に対する処方箋として、日本小児循環器学会では、評議員の新規申請、更新に際しては本学会雑誌での論文採択が必須であることが決議されました。評議員の先生方にはご負担を増やすこととなってしまいますが、学会雑誌の充実、読者にとっての学会雑誌の価値向上のためにご協力いただけますようよろしくお願い致します。

この数年来、両雑誌への投稿数は減少傾向が継続しており、編集委員会では、原著・症例報告を増やすこと、投稿数増加、雑誌の充実に向けて検討してきました。各領域のエキスパートの先生方に総説を投稿いただくように依頼する・学術集会での教育講演、特別講演、シンポジウムなどを担当した先生に投稿を依頼する・一般演題のなかから優秀演題を投稿論文として推薦いただくなどを行ってきましたが、十分な投稿数増加には繋がりませんでした。『日本小児循環器学会雑誌』は1985年に創刊され、40年の歴史を持つ学術雑誌です。2015年に紙媒体から完全電子化し、2017年には英文誌が創刊されるなどを経て時代に沿って変遷してきました。初期のころの雑誌を読んでもみますと小児循環器疾患の病態・診断・治療をまさに開拓してきた内容を含む論文が投稿されており、歴史の深さと雑誌の重要性を感じるようになります。両雑誌をいまの読者である世代の先生方にも数十年あとの世代の先生方にも価値ある医学雑誌であると認識していただけるようにしたいと考えております。学会員の先生方、皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

(早瀬康信)